

東中だより



No. 4

文責：長谷栄次

白熱の東中学校体育大会 ～5つの団の熱い思いが伝わってきました～

9月15日(土)に予定されていた体育大会は雨天顺延となり、16日(日)に個人競技以外の種目を行いました。今年のスローガンは『響輝乱舞(きょうきらんぶ)』～烈火のごとく我等燦く華となれ～』でした。生徒たちは、スローガン通りに一瞬一瞬を全力で取り組み、一人一人が輝き、そして舞い踊っていたように見えました。とても良い体育大会ができました。ご参観いただいた保護者の皆様、地域の皆様ありがとうございました。結果



的に、21日(木)に予定していた個人競技は雨天中止ということになりましたが、16日に応援合戦を皆様に見ていただけたので、生徒たちもやりきった感はあると思います。

私は縦割り応援合戦を見ていて本当に感動しました。生徒たちが、「ひたむきに」「やるべきことを真っ直ぐ前を見つめて行い」「3年生から1年生まで一糸乱れずやり遂げようとす

る姿」に。これは東中の伝統でもあるし、この応援合戦の縦割りの関わりこそが今の素晴らしい東中生をつくっているのだと実感しました。

応援合戦・団体競技の成績とともに紫：蝶瑠(あげは) 団の横山好誠団長のメッセージを抜粋して紹介します。



応援合戦の部

優勝 紫・・・蝶瑠(あげは) 3-5-7 2-3 1-2

2位 赤・・・烙燬(らくや) 3-3 2-2-7-8-9 1-1

団体競技の部

優勝 赤・・・烙燬(らくや) 180点 2位 黄・・・薔彪(らいが) 149点

蝶瑠（あげは）団長 横山好誠（3年）

～ 本番前の通し練習で他の団の踊りを見て、自分たちの団は大丈夫か、とみんなの方を見た瞬間、そんな不安を消し飛ばすほどのみんなのやる気に満ちた表情に、逆に僕が背中を押され、助けられました。～そして、迎えた本番はみんなで「アゲアゲハ」と気合入れをした時、自分の中にもう不安なんかありませんでした。踊った後のみんなで味わう達成感は最高のものでした。そして、結果発表の時、「む」という言葉を待ち、呼ばれた瞬間の喜びはこれまでの努力が報われ、本当にうれしくて団長をやってよかったなと思いました。最後にみんなと喜びを味わったあの瞬間は忘れません。蝶瑠（あげは）のみんな本当にありがとう。

学校評価 ご協力ありがとうございました

一学期末に行った学校評価に対して、ご協力いただきありがとうございました。今年もほぼ昨年と同じ質問項目で実施し、同じ観点での昨年との比較に重点をおきました。結果と考察、個別の質問への回答については、ホームページに掲載をしていますので詳しくはご覧いただきたいと思います。下記に概要を載せさせていただきます。

【生徒の結果より】

東中生は、当たり前前を当たり前前にできることの大切さを、意識してくれています。実際の日常生活でも、あいさつ・無言清掃などすばらしい活動をしています。「自分の考えを発表する」「積極的なボランティア参加」の項目に、積極的な態度に欠けるとの自己評価をしています。授業や学校の活動の中で、思いを表現する機会を意図的につくっていく必要性を感じています。また、先生とのかかわりについては、90%近くの生徒が肯定的な評価をしており、良好な信頼関係を築きつつあるのではないかと感じています。

【保護者の結果より】

「学校生活を楽しんでいる（92%）」「行事に積極的に参加している（82%）」など、日頃のお子さんの様子から肯定的な評価をしていただけていることが何よりうれしいことです。また、家庭学習の定着率や社会生活のルールやマナーなどが課題だと感じていることがわかりました。先生とのかかわりについては、概ね肯定的な評価をいただいています。今後も生徒とのかかわりの中で、より「ていねいに」、より「親身になって」、より「熱心に」、より「毅然とした態度で」をスローガンとしてすすめていきたいと思っています。

【教職員の結果より】

生徒が日常生活をしっかり取り組んでいると自己評価をしているのと同様に、そういう生徒たちの動きに手ごたえを感じています。今の東中の生徒たちとともに、より高みを目指していきたいと考えています。生徒自身が「自分の考えを発表する」ことを苦手としていることと同じく、教師も十分に表現させる場面への工夫ができていないという感想をもっています。この辺りを学校として工夫していく必要があります。授業を準備するための時間が十分にとれていないというのも課題であると思います。